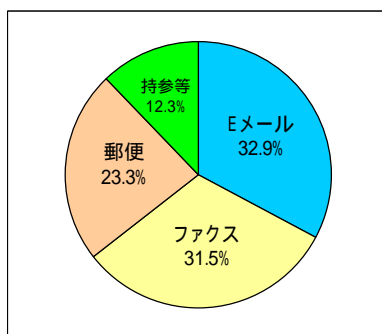


区制素案に対する意見募集の結果について（概要）

件名 「政令指定都市移行に伴う区制の素案について」の意見募集
 募集期間 平成20年1月28日（月）から2月18日（月）まで
 応募件数 73人（109件）
 概要

1 応募手段

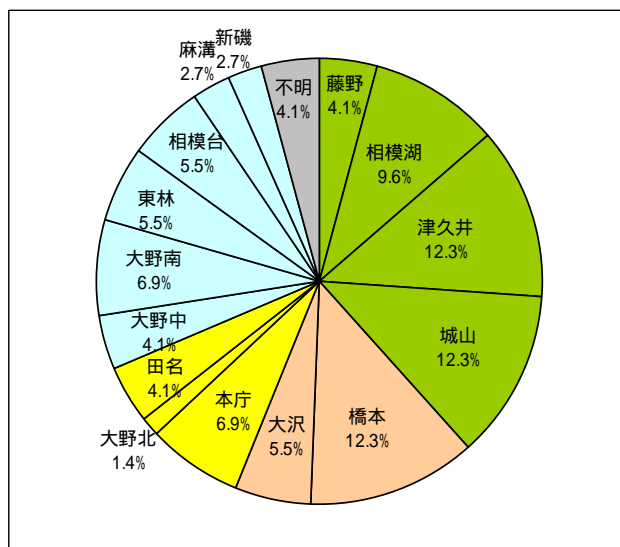
種類	人数	割合
Eメール	24人	32.9%
ファクス	23人	31.5%
郵便	17人	23.3%
持参等	9人	12.3%
合計	73人	100.0%



Eメールとファクスによる電子媒体での応募が全体の64.4%で半数以上であった。

2 地区別（地域自治区・出張所）応募状況

地区	人数	割合
藤野町	3人	4.1%
相模湖町	7人	9.6%
津久井町	9人	12.3%
城山町	9人	12.3%
橋本	9人	12.3%
大沢	4人	5.5%
本庁	5人	6.9%
大野北	1人	1.4%
田名	3人	4.1%
大野中	3人	4.1%
大野南	5人	6.9%
東林	4人	5.5%
相模台	4人	5.5%
麻溝	2人	2.7%
新磯	2人	2.7%
不明	3人	4.1%
合計	73人	100.0%



津久井地域からの意見が全体の38.3%で最も多かった。

大野南地区など南部方面の地域からの意見は、全体の27.4%であった。

本庁周辺地域からの意見は、全体の12.4%であった。

地区別では、津久井町、城山町、橋本地区がそれぞれ全体の12.3%で最も多く、次に相模湖町地区の9.6%であった。

3 提出された主な意見 (合計 109 件)

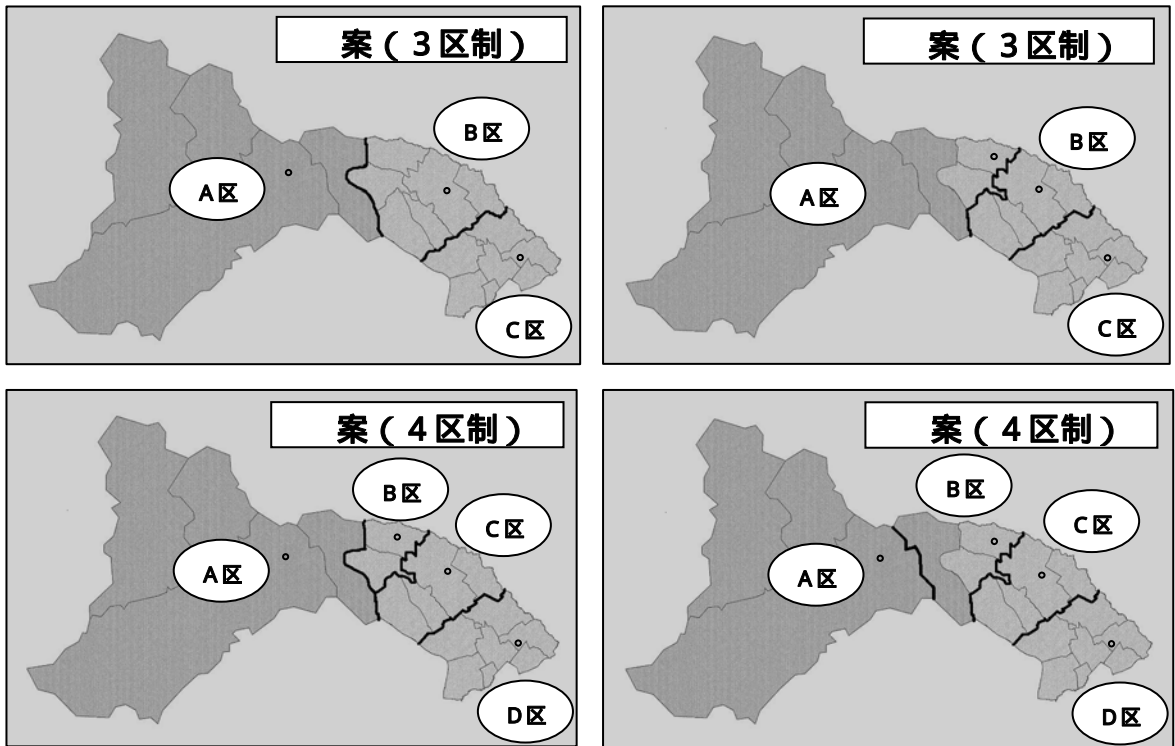
(1) 1つの区割り試案に対する賛否に関するもの(55件)

区分	賛成	反対
案(3区制)	4人	6人
案(3区制)	17人	5人
案(4区制)	5人	3人
案(4区制)	13人	2人

津久井地域と橋本、大沢地区を1つの区とする3区案に賛成という意見が最も多かった。

次に、津久井地域の旧3町を1つの区、橋本・大沢・城山町地区を1つの区とする4区案に賛成という意見が多かった。

【検討試案】



➤ 案(3区制)に対する意見

賛成

- ・橋本地区の発展は目覚しいが、相模原駅周辺との同質性がある。
- ・津久井地域の広域的なつながりを尊重する必要がある。
- ・財政的負担が少なく効率的である。

反対

- ・3拠点によるまちづくりから旧市を二分する形になり推奨できない。
- ・B区の人口が肥大化しすぎる。
- ・橋本～三ヶ木のバス沿線は、橋本駅を拠点とした生活圏である。
- ・単に旧津久井郡という理由のみで分断すべきではない。
- ・合併した意味がなく、津久井地域を見離す案に感じられる。

➤ **案(3区制)に対する意見**

賛成

- ・人口バランスが最もいい。
- ・生活圏との整合が図られている。
- ・相模原駅周辺は基地返還による発展が期待されており、橋本地区とは別の区にすることが合理的である。
- ・新市の一体化を考慮した区制が一番必要である。
- ・城山町地区は都市計画も旧市と一体であり、橋本地区が日常の生活圏である。
- ・相模湖町、藤野町地区からは鉄道利用により橋本地区への利便性もある。
- ・津久井地域と橋本地区は昔からつながりがある。
- ・各区の議員定数が平準化できる。

反対

- ・橋本地区のイメージが埋没してしまう。
- ・区役所の業務範囲が広範囲になり、他区に比べて対応が難しくなる。
- ・区域が広大で、災害等での対応が遅れる可能性が高い。
- ・津久井地域からは区役所が橋本駅周辺では不便である。
- ・環境が大きく違う2つの地域では、地域特有の環境や特色を活かしたまちづくりがしにくい。

➤ **案(4区制)に対する意見**

賛成

- ・歴史的事情、地域コミュニティ、人口規模を重視した視点で賛同できる。
- ・既存の行政圏域などからもベストである。
- ・津久井地域は100年以上の歴史があり、津久井という名は旧4町が揃ってこそ残せる。

反対

- ・費用対効果の面からも4区は妥当ではない。
- ・城山町地区は、生活圏からも旧4町で1区では合併の意味がない。
- ・城山町地区は、津久井町地区に区役所を設置するのでは不便になる。

➤ **案(4区制)に対する意見**

賛成

- ・津久井地域の広い面積を考慮し、単に人口割合だけで決めるべきでない。
- ・城山町地区は旧市と同一の都市計画でまちづくりを進めてきたことや橋本地区が日常の生活圏である。
- ・自然と都市が明確で、その良さを市民がしっかり共有できる。
- ・自然をマイナスイメージで捉えるのではなく、自然を財産として捉える見方は、他の政令市に比べ特徴的である。
- ・津久井地域の新しいまちづくりというチャンスを活かすべき。
- ・旧市と津久井地域の旧3町は相模川で区切られ、経済・文化・地形で非常に異なる。旧3町の役割は異なる。

反対

- ・ A区の人口が極端に少ないことから推奨できない。
- ・ 過疎地域を見離す案に感じられる。

(2) その他区割りについての意見(17件)

主な意見

- ・ 横浜線沿線と相模線沿線では環境が相違することから、東西の区割り検討をすべき。
- ・ 10万人程度の区割りで地域密着型の行政をすべき。
- ・ 津久井地域の旧4町で1つの区では合併した意味がない。
- ・ 城山町地区を除く津久井地域の旧3町は、橋本地区とは環境の違いが大きい。
- ・ 歴史的な視点で、津久井地域の旧4町で1つの区を作るべき。

(3) 区役所の位置についての意見(9件)

主な意見

- ・ 案の場合、相模湖町、藤野町地区を考慮し津久井町地区に置くべき。
- ・ 案の場合、3町地区の中心の相模湖町地区に置くべき。
- ・ 案の場合、現在の橋本出張所の位置を考慮し、駅前に置くべき。
- ・ 案の場合、北警察署周辺に置くべき。
- ・ 案の場合、津久井町地区南部地域への配慮から、橋本駅周辺は推奨できない。

(4) 区名についての意見(7件)

主な意見

- ・ 全体として短い地名にしてほしい。
- ・ 地域自治区の名称は省き簡素化してほしい。
- ・ 区名と次にくる地域名の重複は避けるべき。
- ・ 方位の区名では味気ない。
- ・ 市名の字数が多いため、方位(北、中、南)がいい。
- ・ ひらがなやカタカナ、シンボル(けやき、あじさいなど)の名称は止めるべき。

(5) その他の意見(21件)

主な意見

- ・ 将来の市を考えた場合、整然として効率のよい区制にすることを希望。
- ・ 市民がより暮らしやすく便利で、誇りに思うまちづくりをしてほしい。
- ・ 特性を持った区制、目的を持った都市づくりが必要である。
- ・ 津久井地域、麻溝・新磯地区の交通アクセスの向上が必要である。
- ・ 区制施行によりサービスが低下する区域ができてはならない。
- ・ 利便性向上のため、全ての区役所で同様のサービス提供が必要である。
- ・ 区役所は利用度の低い箱物を売却してでも市民ニーズにあった施設を作るべきである。

- ・区役所は新たな建物を作るべきではない。
- ・区民会議は、参加者の男女比や年齢層などのバランスが必要。
- ・区役所や区民会議で地域の声が届きやすくなるか疑問である。
- ・市民への周知徹底を図り最終的には住民投票をすべき。

4 意見募集結果の総括

意見募集の結果は、サンプル数としては少なかったが、市民説明会での意見などと照らし合わせてみても、市民意見の傾向はつかめたと考えられる。

区割り

旧市域では、3拠点によるまちづくりを基本とすることについて、おおむねの理解が得られていると考えられる。ただし、横浜線沿線と相模線、相模川沿いととの地形的な違いや都市形態の違いなどから、東西方向に分けた区割りの検討を希望する意見も一部にみられた。

津久井地域の城山町地区では、旧市と都市計画区域を一体としたまちづくりを進めてきた経緯や地形的なつながり、生活圏など、橋本駅を中心とした地域であり、合併による新市一体化への期待などから、橋本・大沢地区と同一の区割りを希望する意見が多く、明確な意思が示されている。

また、津久井地域の旧3町でも新市一体化への期待など同様な意見も多いが、単に人口バランスにとらわれることなく、自然と都市を明確に区分して、自然をマイナスイメージではなく、財産として捉え、他の政令市にはない特徴として示していくという意思も多くみられた。

区役所の位置

提出された意見は、案についてのみであったが、案の橋本駅周辺の位置については、現在の橋本出張所等の機能を考慮する考え方と新しく整然とした地域にある北警察署周辺への設置、また、広大な面積を考慮し、津久井地域に置く意見もみられた。

案では、相模湖町地区に置く意見もみられた。

区名

区名の検討は今後の検討課題となるが、簡素で分かりやすい表示が求められているものと考えられる。

その他区制に関する意見

将来を見据えた中で、交通アクセスの向上については、津久井地域や相模線沿線の地域からの要望が多く、市民がより暮らしやすく便利で、誇りを持てるようなまちづくりに期待する声がある。

【考察】

区役所や区民会議の設置などは、市民サービスの面や地域の声の反映に対する不安の声もあることから、区役所業務等の明確化や区民会議とまちづくり会議、地域政策担当の関わりなど、制度設計に関する十分な周知により、市民の不安を払拭していく必要があると考える。